



せせらぎ荘でもゲームは好評

楽しく遊んでボケ予防

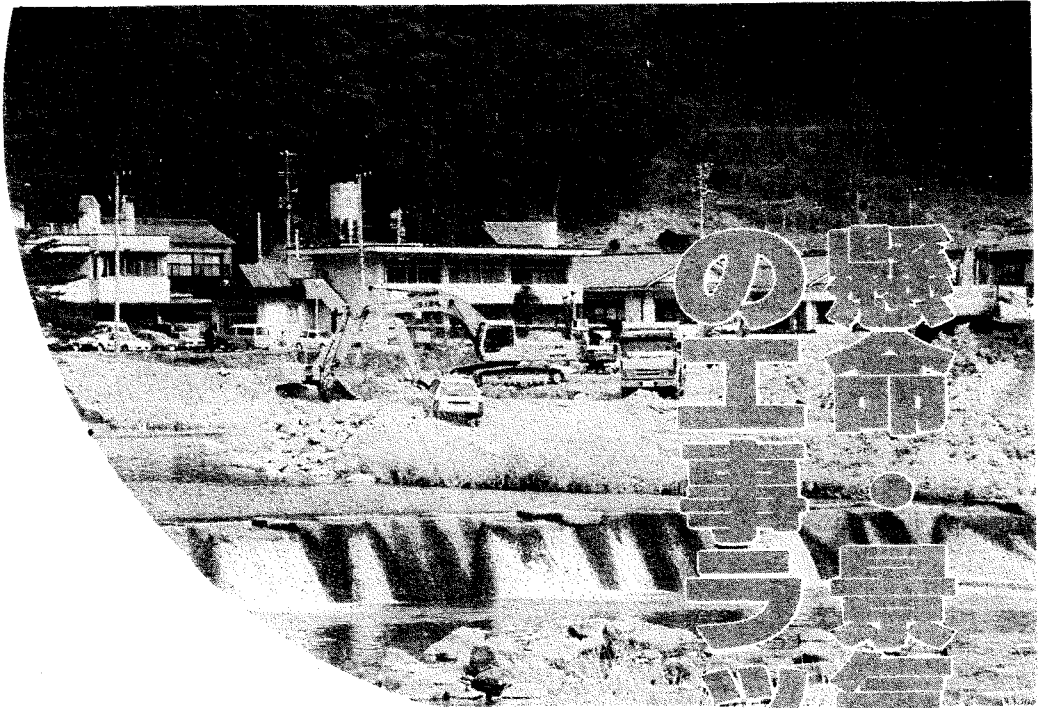
“気持ちの持ち方一つで、寝たきりや痴呆は防ぐことができます”。
 簡単なゲームを中心にふだん使わないような所を動かし、楽しみながら思わず熱が入ってしまった「寝たきりと痴呆を防ぐ講習会」のひとコマでした。

参加者は約80人。講師の上野先生の話に身を入れる姿には、明るい高齢化社会づくりの意欲が見えました。

広報 ひがししらかわ

1994 4 No.394
 平成6年

人口の動き	
—3月末住民登録人口から—	
世帯数	900世帯
人口	3,418人
転入	12人
転出	33人
出生	1人
死亡	4人
先月と比較して	24人減
昨年同月と比較して	9人減



命の懸る 景気浮揚 ラッシュ

今、村内は猛烈な土木工事のラッシュになって
います。
ある人は平成五年度の工事が遅れているのでは
ないか？。またある人は、村はこんなにいっぺん
に工事を始めて大丈夫か？……と心配をして下さ
います。
その疑問にお答えする特集です。

三月末のある日。

東白川中学校前から
東白川病院前までの
川の中に入って工事
をしている、バック
ホウなどの大型土木
機械の数を数えたら
十二台ありました。
この間の距離がお
よそ六百メートル。
五十メートルに一

台の割でうなりをあ
げるバックホウ。少
し下ると中川原にも
また姿が見えます。
もつと下って五加
柏本、ここにも橋の
下部工事をする重機
がいます。
鮎の解禁以来の白

川の賑わいですが、
これからそのひとつ
ひとつを訪ねながら
内容をご紹介します
よう。

何ととっても工事が最も集中してい
るのが中学校前から病院前の間です。
母子センター、病院、せせらぎ荘と
いう大切な村の施設が並んでいる一帯
の道路改良は、長い間村民の要望が続
いていましたが、現在ちようど病院の
診療棟からせせらぎ荘前まで、道路を
広くするための工事が進められていま
す。

川の方へ道路が広くなり、病院側に
歩道ができるのです。

この工事は県がやっています。
このように、村の中で行われている
工事でも全部村が責任をもって進めて
いるわけではなく、県が発注して県が
進める工事も多くあるのです。

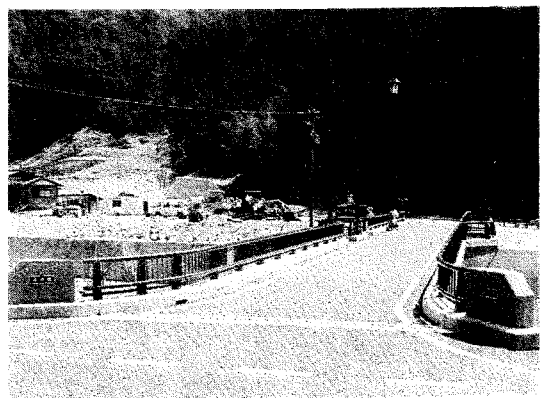
中学校から病院の間に 歩道をつくります

病院前あたりの道路は現在国道二
五六号線となっていますが、この路線
の工事は県が国に代って行います。

できるだけ多くの改良工事をやって
もらうよう県へ要望を続けていますが、
その結果として、中学校と病院間に現
在は工事が集中しているわけです。

なかでも、この間に歩道をつける工
事が待ち望まれています。しかし歩道
を設けるためにはその分だけ川へ道幅
を広めなければなりません。

ただ道幅を広めただけでは今度は川
幅が狭くなって洪水の時に困ります。
そこで、その分だけ更に対岸を広め
てやる必要があります。そのための工



4月19日竣工式を迎える平成橋

事が対岸で施工された護岸工事で、安
江秀太郎さん裏に、自然石張りのプロ
ックで立派な護岸が完成しました。
これも県が行った工事で、引き続き、
中学校側の道路を広める工事が始めら
れます。

不景気脱出をねらって 公共工事を追加発注

この三月から四月にかけて、なぜこ
のように工事が多いのか。それは不景
気を脱出するために、国が大幅に公共
工事の追加をしたためで、これを受け
て県が工事の追加発注をしました。

この追加分と前から予定されていた
工事が同時になって、このような工事
ラッシュになったのですがどちらにし
ても工事が促進されるということは村
にとつては歓迎すべきことです。

平成橋竣工・誘遊街道は

国道二五六号のバイパス

中学校前の沢尻橋架け替え工事が完成し、この十九日に竣工式を迎えます。

この事業は村が行いました。そして病院前の対岸で作られている「誘遊街道」も村の工事です。

この事業のねらいは、中学校の前から長瀬までの区間にバイパスを確保し、国道二五六号線の白川橋付近の工事の際の通行止めに備えるとともに、白川の流に親しみやすい、うるおいのある通行帯をつくらうというものです。

そして、姿を消した旧沢尻橋に代った新しい橋は、その名も平成橋と名付けられ、対岸の橋のたもとには

「鮎が瀬公園」というミニ公園が整備されます。

このように中学校

から病院までの間は、県の工事と村の工事がいくつも集中しているため、バックホウの集会のような活況を呈したのです。

さて、少し下った中川原。この計画は、水に親しむふれあ

い広場を作ろうというもので、そのために近年中に県道から対

岸へ渡る橋を架け道路も整備しますが、これに合わせ二一三年継続で

川を少し広くして流れを確保するとともに、自然石を組み合わせたこう配の

緩い護岸を作ります。

このあたりの白川は鮎かけのポイントです。



中川原工事現場

アプローチでき、今まで以上にすばらしい鮎かけ場となることが期待されます。

それは良いとして、何とかしてあの松林を残しておきたかったという声があります。

もっともな意見です。しかしながら水の流れの

計算上、きまりとしてどうしても川幅を広くしな

ければならないのです。

ここらあたりが苦しい選択を迫られるところで、ご理解をいただきたいと思えます。

小中学生の作品が 柏本橋を飾る

さて、ずっと下って五加柏本。昭和六十三年から進め

てきた五加バイパスは、最後の橋の下部工事が終わ

り、すでに別の所で出来ている上部を運んで架け

れば出来上がりですが、その橋の名は「柏本橋」。

このほどその橋名板の村内の小学校六年生と中

学生全員、合わせて百六十九人から募集し、審査

投票の結果、上の四人の作品が見事栄冠を得られ

ました。

五加バイパスはこのあと、こちら側に残っている道路の改良を急ぎ、今年の晩秋までには全線開通です。

前にのべた中川原も、この五加バイパスも、もちろん県の工事ですが、越原地区も忘れるわけにはいきません。

池の島あたりの改良工事は、更に追加されて一気に今田屋前まで伸びて行きます。不景気対策は村づくりには追い風となっています。これをとらえて

工事は今日も進みます。

柏本橋橋名板採用決定

169人の中から最優秀賞となり橋名板に採用された作品です。
※学年は平成5年度のものです。

柏本橋

▲中学2年・安江伸子 氏 (神付、豊司さん長女)

かしもとはし

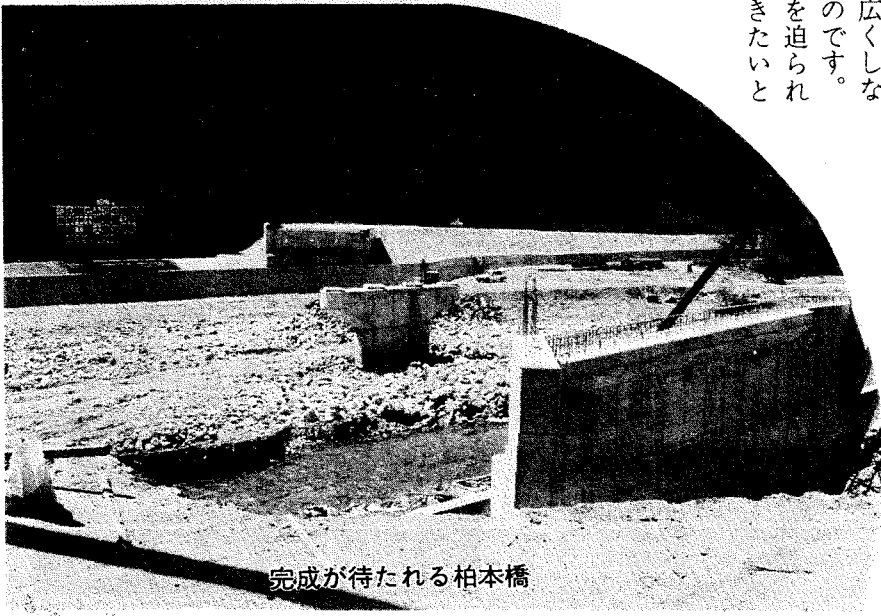
▲小学6年・鈴木春菜 氏 (陰地、礼二さん長女)

白川

▲中学1年・今井あい 氏 (平、邦光さん長女)

平成6年8月竣工

▲中学3年・大坪佐和子 氏 (上親田、正信さん二女)



完成が待たれる柏本橋

春

出会いの季節...別れの季節

渡辺部長の後任に 小森部長が着任

村の治安維持にご尽力下さった渡辺裕巡查部長が、三月加茂警察署刑事課へ転勤され、この四月から県警本部警備課に勤務しておられた小森邦広巡查部長が着任されました。

以前、加茂署にいましたので、こちらへも何回か来ましたが、本当に環境が良くまさに山紫水明という言葉がぴったりの所ですね」と第一印象を話してくれた小森部長。損斐郡大野町のご出身でご家族は奥さんと男のお子さんが三人。さわやかなイメージの部長さんです。



4月1日から変わった新制服の小森部長

長い間お疲れさまでした

平成六年の消防団入退団式が、三月十九日中学校体育館で行われ、十二名のみなさんを送り出すとともに十一名の新入団者を迎えました。

式典では、退団された十二名のみなさんに感謝状と記念品が送られたほか、特に団長を八年間勤められ、三十二年の長きにわたり消防団活動にご尽力下さった中島潮巳さんには消防庁長官表彰功労章が村長より伝達されました。今年から消防団が一本化となり、これまでであった分団が廃され、三部からなる新編成となります。

安江美好新団長のもと、いよいよ消防団新時代のスタートとなりました。入退団者及び新年度幹部辞令を受け、みなさんは次のとおりです。



中島前団長

●退団された人 (敬称略)
【本部】団長—中島潮巳▼副団長—長—安江庄三
【第一分団】分団長—村雲知巳
▼副分団長—村雲利治▼部長—村雲成治、村雲健次、今井悦郎、村雲裕、今井正英



安江新団長

●入団された人
【本部】大坪靖(平) 【ラッパ隊】安江敏之、今井(柏本)
【第一部】今井輝久(神付)、安江祐司(陰地)、大岩裕尚(平) 【第二部】古田耕一(上親田) 【第三部】桂川和也(栃山)、山田久陸(黒淵)、熊澤良介、青木政宏(日向)
●幹部辞令を受けた人
【本部】団長—安江美好▼副団長—高井三郎▼本部長—樋口章久▼ラッパ部長兼警備部長—菊田和博▼子防部長—小池毅▼訓練部長—中島甲子生▼部長—今井義尚▼副部長—安江良浩
【ラッパ隊】隊長—古田俊之▼副隊長—安江敏治
【第一部】部長—島倉宏之▼副部長—中島泰幸
【第二部】部長—田口昌弘▼副部長—村雲陽司
【第三部】部長—稲垣進▼副部長—松岡昭信



感謝状を受ける退団者のみなさん

今年1年
よろしくお願
い
します
各団体等役員紹介

平成六年度の各種団体長や役員などが決まり、この四月からみなさんの代表としてご苦勞を願うことになりました。
(敬称略)

区長

【神土】新田利一(平)
【越原】稲垣昇(陰地)
【五加】嶋田進(宮代)

事務嘱託員組長

【神土】大口—今井恒行▼平—榊間—吉▼下親田—安江正悟▼上親田—伊藤勉▼中通—今井正男▼神付—村雲健次▼中谷—田口信夫▼加舎尾—新田久▼西洞—今井秀雄
【越原】曲坂—安江洋次▼日向—安江庄吉▼陰地—安江剛▼栃山—馬淵陽祐▼黒淵—安江一三▼大明神—

紹介します新しい先生 教職員人事異動

今年も四月一日付けで小中学校教職員の人事異動がありました。異動のあったみなさんは次のとおりです。
(敬称略)

【転出された先生】

▽東白川小学校△

教諭―榎間まち子(八百津町福地小へ)、大森一宏(古川町古川小へ)、三宅裕子(可児市中部中へ)▼講師―日下部千春(加子母村加子母小へ)

▽東白川中学校△

校長―熊崎満夫(岐阜県教育委員会へ)▼教諭―田口等(スポーツ担当派遣社会教育主事東白川村へ)、永澤朝行(不破郡不破中へ)▼養教―赤塚真美(八百津町東部中へ)

【転入された先生】

▽東白川小学校△



教諭
齋藤 齋
(38歳―羽島市)
笠松町松枝小から



教諭
福井 裕子
(44歳―七宗町)
川辺町川辺中から



養教
稲垣 章子
(22歳―可児市)
白川町佐見中から



教諭
山内 茂弘
(34歳―大和町)
美並村三城小から



校長
和田 義昭
(51歳―八百津町)
可児市教育委員会から



講師
飯田 美鈴
(22歳―可児市)
臨時採用



教諭
渡辺 直美
(22歳―川辺町)
新採用

※飯田美鈴先生は、小・中兼任講師
▽東白川中学校△

期待のルーキー登場・村と関連団体退職及び新採用

【退職】

田口茂(東白川病院局長)▽今井恒行(林務商工課課長)▽安江昌子(総務課)▽安江則子(建設課)▽稲垣民子(神土保育園)

(敬称略)

【新採用】



今井 昌子 (大 口) (ふるさと企画) 18歳
後藤 智香 (白川町) (社会福祉協議会) 22歳
嶋倉 かつ代 (大明神) (神土保育園 調理員) 44歳
若井 純 (富加町) (教育委員会) 18歳
辻 普稔 (白川町) (林務商工課 林務係) 20歳
梅田 誠一 (加子母村) (企画財政課 企画財政係) 20歳
三宅 将博 (美濃加茂市) (建設課水道係) 27歳

三戸侃夫

【五加】▼柏本―栗本棲夫▼宮代―安江貢▼大沢―今井保都▼下野―安江和郎▼久須見―古田茂樹

◆PTA

【小学校】▼会長―今井直美(下野)▼副会長―安江寛(上親田)、安江一成(大明神)
【中学校】▼会長―古田公平(西洞)▼副会長―今井武司(陰地)、今井俊郎(陰地)

◆子供会

▼会長―古田茂樹(久須見)▼副会長―安江和良(下親田)、松岡昭信(陰地)、今井保都(大沢)

◆高校生保護者会

▼会長―古田勝彦(平)▼副会長―高井孝二(黒淵)、今井久喜(大沢)

◆婦人会

▼会長―早瀬智登子(上親田)▼副会長―村雲ふで(中通)、安江春子(大明神)▼書記―島倉淑子(下親田)▼会計―村雲春子(平)▼神土支部長―早瀬たつ(神付)▼越原支部長―松岡美代(陰地)▼五加支部長―古田岸子(下野)

おし せ ら

こんにちは 社協です

「ボランティア活動に参加してみませんか」。現在、村には寝たきりのお年よりに手作り寝まきを送る活動などを行っている赤十字奉仕団や毎月独居老人宅に食事サービスを行うかすみ草などのグループがあります。こうした活動に、みなさんの参加をお待ちしています。

(連絡先：社会福祉協
議会(有線)〇九八)

防霜ファンを お使いの皆さんへ

お茶のシーズンが近づき、防霜ファンが動き出す時期がやってきましたが、ご使用される際には、必ず次のことをご確認ください。

- ①施設の点検及び試運転は必ず行い、ファンの回転確認をして下さい(試運転は、使用前にお願いします)。
 - ②万一、不良箇所発見の場合は、直ちに修理して下さい。
 - ③ファンが故障した場合のメーカー代理店、電気工事店など、関係箇所の連絡先を再確認のうえ、緊急に備えて下さい。
 - ④停電した際、自動的にスイッチが「切」になる機種がありますので電気がついた場合、スイッチが「入」になっていることを必ず確認して下さい。
- ※もし、異常を発見されましたら、すぐにメーカー、電気工事店または中部電力へご連絡下さい。
- 中部電力(株)金山サービス

4月1日より窓口手数料 が変わりました。

平成六年四月一日から、住民票、印鑑証明などの交付に要する手数料が左表のように改定されました。

窓口手数料は、昭和五十九年以降据置きとなっていました。だが、徴収条例がこのほど改正され、この四月から改定されたものです。

種類		現行	改定後	
住民課	個人	200	300	
	世帯	4枚まで	200	300
		8枚まで	400	600
		8枚以上	600	900
附票	1件	200	300	
公簿閲覧	住民票 住税 務	1件	200	300
各種証明	1件	200	300	
印鑑登録	1件	100	300	
印鑑登録証明	1件	200	300	

新入学・新入園児を 交通事故から守ろう

春は新入学、新入園の季節。新しい生活を楽しみに待っていた子どもたちがたくさんいます。しかし、暖かくなり外で遊ぶ機会が増えて交通事故の多発する時期でもあります。私たち大人は、子どもの交通事故の特徴や行動特性を正しく理解し、悲惨な交通事故から守らなければなりません。家庭では、交通ルールを正しく教え、子ども自身が実践できるような習慣づけましょう。

- ◇幼児の交通事故の特徴
- ・道路へ飛び出しが最も多い。
 - ・午後二時から午後六時までの間に多発。
 - ・自宅から一〇〇メートル以内で多発。
- ◇幼児の行動特性
- ①一つのことに注意が向くとまわりのものが目に入らない。遊びに夢中になっているときは、車が近づいてきても気がつきません。道路の向こう側から親に声をかけられると急に飛び出してしまいます。



春の全国交通安全運動

- ②ものごとを単純に理解してしまう。信号が赤になれば、車はすぐ止まると思い、車の停止を確認しないで急に渡りはじめます。
- ③そのときの気分で行動がかたたりするとそのことで頭がいっぱいになり、周囲を見ずに歩いたりします。
- ◇子どもを交通事故から守るために
- ・家庭では、親が正しいお手本を見せながら、子ども自身も繰り返して教えましょう。
 - ・ドライバールミナさんは、いつ子どもが道路に飛び出してくるかわかりません。裏通りや公園などの近くを通過するときは、スピードを落とす。慎重に運転しましょう。

保健婦だより

「病は気から」といふように、心と体は切っても切れない関係にあります。心が元気なら体も元気になり、逆に心が疲れていると体も疲れてくるもの。ストレスづけを放置しておく、いつしか心と体にひずみが生じていわゆる「ストレス病」や成人病等に直結することもあるかもしれません。いま、心の健康が声高に叫ばれているのは、まさにそのため、次々と押し寄せるストレスで疲れぎみの心には、体と同様に十分な休養が必要です。節目、節目で積極的に休養を!

今年はおローラー作戦 つちのご捕獲イベント

東白川の名を全国的に広めたものといえは、何と云ってもちのこです。

今年も五月三日(憲法記念日・午前九時受付)、親田農村公園をメイン会場として大捜索隊が編成されます。今回は特に「つちのご捕獲ローラー作戦」と銘打って、とにかく人海戦術で多発地域をしらみつぶしに捜しちやおうという企画です。

平成元年生け捕り賞金百万円でスタートした懸賞金も毎

年一百万円つちの加算で今回は百五万円となっております。ローラー作戦に参加した人全員がこの賞金を手にするチャンスがあります。

「山狩り」となれば「地の利」を生かした地元のみならず、

さらには、おなじみのバザーに加え、国産米二十、白川茶一年分、サッカーボールなど豪華商品が当たる「ラッキー抽選会」も用意されています。

春風に誘われて「ゴールデンウィーク」の一日、「夢追人」に加わりませんか。実行委員

会ではみなさんの参加をお待ちしています。

【参加料】

当日/千円 (小人七百円) 予約/八百円 (小人五百円)

※参加料には、軍手、飲み物、傷害保険などが含まれます。

※予約申し込みは、(株)ふるさと企画(有線二二七七、三八一三一九二)まで。

リサイクルを 応援します

リサイクルを 応援します

リサイクルのことばを耳にするようになって久しくなります。省資源の面からいわれていたこのリサイクル

最近新たな効果が見いだされています。

中学校ではPTA母親委員のみなさんが中心となり今年一月に卒業生などを対象に必要なご家庭に譲る橋渡しの活動を行いました。

広報でもそうした活動を応援するため、広報紙を情報の窓口を利用していただきたいと思えます。捨てるには惜しいけど今は使わない...といったものをこの「お知らせ」のページの中で紹介いたします。詳しくは、役場企画財政課(有線二一八五)まで。

けいじばん

【戸籍】

(敬称略)

●お誕生おめでとうございます

(陰地) 牧野 友紀央 } 真也 (二男)
美 幸 }

●いつまでもおしあわせに

{ 足立 健二 (関市)
田口 佳澄 (西洞)

●おくやみ申し上げます

安江 政二 69歳 (栃山)
藤井 明美 60歳 (大沢)
土井 わか 90歳 (宮代)
古田 金吾 75歳 (大沢)

【善意】

(敬称略)

【中学校改築事業指定寄付】

現金100万円(一)白川製作所、笹俣勇夫(春日井市)

【庁用備品購入指定寄付】

現金10万円=田口 茂 (加舎尾)
現金10万円=今井 恒行 (大口)

【社会福祉協議会へ】

現金10万円=藤井一二三 (大沢)
現金3万円=土井わさ子 (宮代)
現金10万円=田口 はる (中谷)

...100歳誕生日記念

【東白川小学校へ】

レクチャーアンプ1台=平成5年度卒業生一同

【はなのき会館へ】

銅製花びん=桂川政一 (日向)

【越原保育園へ】

C Dラック1台=平成5年度保護者会退会者一同
万能ミキサー1台=稲垣民子 (陰地)
コピー機1台=伸光電気商会・安江光昭(上親田)

【五加保育園へ】

壁クロス、カーテン=今井明生 (大沢)

TOPICS

作る

包丁さばきも鮮やかに 独居老人お料理教室



みんなで楽しくおいしい料理 (五加センター)

「一人で暮らしている者のために、簡単にできる料理の講習会を開いて欲しい」、ある独居のお年寄りの方の提案で、去る三月十五、六日の二日間、社会福祉協議会とボランティアグループ「かすみ草」が中心となって「独居老人お料理教室」が村内四会場(五葉会館、越原センター、子護会館、五加センター)で開かれ、二十三人の方が参加しました。

今回のメニューは、親子丼、みそ汁、温サラダ。会場によっては、この共通メニュー以外に「じゃことチーズの包み揚げ」「ひじき」などにも挑戦したところもあったようです。

かすみ草の皆さんの説明を聞き、包丁を握る姿は、さすがに年期が入っています。中には、少々早く作り過ぎて、お昼が早くなったところもあったとか。

参加したお年寄りからは「おおいで作って食べる食事の味は格別」と大好評。社協では、今後もこうした教室を定期的に行っていく予定です。

釣る

集まった大公望280人 春の風物詩あまご釣り大会



ポイント選びが釣りのコツです

「溪流釣りの醍醐味を味わうならやっぱりアマゴ釣り」。

三月十三日、越原の藤の木橋えん堤より下流約一*の白川を舞台に恒例の「東白川中部あまご釣り大会」が開かれ、遠くは静岡県からという人も含め、村内外から二百八十人を超えるみなさんが参加し腕を競い合いました。

今回で九回目を数えることもあって、予約の段階から申し込みは殺到。前日は雪が舞い、当日明け方は、冬に戻ったような寒さだったにもかかわらず、川付近には午前〇時くらいから場所取りのための熱心な釣りファンの姿も…。

毎回恒例となっているバザーは、バスケットチーム「ヤマカレデイス」のみなさんが担当。うどん、焼き鳥など身体も温まるものばかりとあってこちらも川に負けず劣らず大好評。

後援の中日新聞社賞のかかった匹数を競う大漁賞は、穂積町から参加した安達進さんが九十匹を釣り上げ、見事優勝しました。

植える

一本一本丹精込めて ハナノキ街道記念植樹



はなのき会館前にもたくさん植えられました

「電気料金集金活動終了に際し、何か記念になることを行いたい」。去る三月十四日、婦人会のみなさん七十人が参加し、こもれびの里のハナノキ街道わきに、桜とハナノキの苗木合計二百本の植樹を行いました。

婦人会では、これまで活動の一環として昭和十八年から電気料金の集金を行い、その手数料を活動資金などに充てていました。この集金活動が今年度をもって終了するためその記念事業として植樹を行ったものです。

当日は、春真っ盛りを思わせるような晴天。ハナノキ街道の約一*の区間を森林組合のみなさんや役場職員とともに午前中をかけて植樹を行いました。また、今回の植樹を記念した記念碑がこもれびの館下方に建てられその除幕も行われました。春には桜、秋にはハナノキがハナノキ街道を彩ることでしょう。

話題集まれ!

輝く 茶業一筋、安江さんが 飛驒美濃特産名人に

平成五年度の「飛驒美濃特産名人」茶の生産部門に中谷の安江寅彦さんが認定され、去る三月二十三日、県庁において梶原岐阜県知事から認定証を授与されました。

県が昭和六十三年度から行っているこの事業は、全国に誇る銘柄品づくりを進めるうえで、これを地域で支える生産者を認定する制度。

対象となるのは、トマト、花き、イチゴ、茶など県の特産品十品目。これまでに県下で四十人が認定されており、村内では、昨年のお茶部門で認定された今井眞平さん（日向）に引きついで、三人めの快挙となりました。

安江さんは、茶葉の振興面で山間傾斜地という条件のもと経営規模の拡大や品質向上を目的として土づくりなど率先して新技術の導入を取り入れ、また経営の合理化のため神土茶生産組合の建設などを進め、茶部門の要職を歴任されるなど地域のリーダーとしての努力が認められたものです。



喜びの安江寅彦さん

昨年、認定された今井さんと安江さんは同い年。良い意味でライバル心がある二人は、そうです。

歩く 体も心もリフレッシュ 金華山ハイキング



おいしい空気をごちそうに健康ウォーキング

「健康づくりのためには、まずは歩くこと」。

広報の先月号で「ウォーキング教室」が開催されたことについて、紹介しましたが、去る三月二十四日、そのまとめの

もいえる「金華山ハイキング」が実施され、春の一日に気持ちの良い汗を楽しみました。

前日が雨ということもあってお天気が心配されましたが、当日は少々風が強かったものの、絶好のハイキング日和。八十八歳になられる最高齢の桂川政一さん（日向）を筆頭に、若い世代では十代の人まで二十三人が参加。一行は、バスで岐阜公園まで到着の後、「七曲がり登山コース」を上り、岐阜城を経て「瞑想の小道」を下る一周約四・五kmのコースを踏破しました。

「田舎に住む人ほど、短い距離でも車を使わず歩かない」こんな話をたまに耳にします。この健康ウォーキングは今後も継続して行いますので、「最近運動不足で…」なんていう方は参加なさってはいかがでしょう。

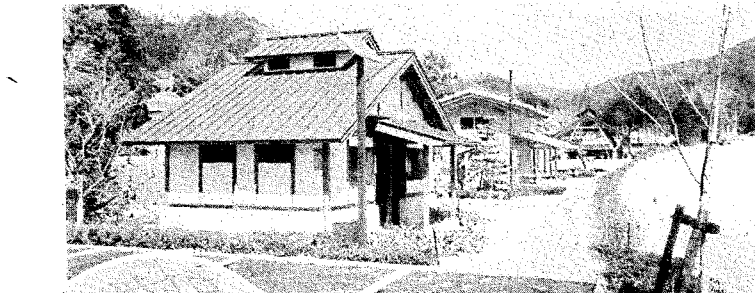
遊ぶ 白川の景観をふんだんに 生かした瀬音公園完成

美しい自然景観を残し、守っていくため国が実施した「美しいむらづくり特別対策事業」の特別対策地区に指定を受け、工事を進めてきた「白川瀬音公園」が二か年を経てこの三月に完成、二十四日に竣工式が行われました。

式典には、工事関係者や地元のみなさんなど約四十人が参列。席上、施設管理委託書が白川瀬音公園運営委員長の松岡勝さん（陰地）に交付されました。

この公園には、バーベキューなどが楽しめる東屋に、石積み屋根の水車小屋、水洗トイレがあります。東屋と水車小屋は、使用料が決まっています。詳しい内容や予約については、管理主事荻田良平さん（陰地・有線3425）までお尋ね下さい。

瀬音公園前は将来、国道二五六号線が通ります。村外の人の利用にも大きな期待が寄せられています。



委託書を受ける松岡さん



今月の笑顔さん



入学、卒業の感動は心に何を焼きつけてくれるでしょうか？
春。巣立ち。

四月。卯月、花便り、朧月。
今年、小学校へ入学する子は三十三人。どういうわけかほつぺたの赤い子が少なくなったような気がします。
六年生卒業、中学へ入る子が三十六人。頼もしい伝統引き継ぎ軍団です。
四十一人が巣立ちました。全日、定時制を合せて全部高校進学。その母校東中の校舎は、昭和二十四年十一月に建設され、送り出した卒業生は四千四十八人。四十五年の校齡を迎えようとしています。

みんなが公園…のよつなぱーじ

さらに生徒達にとって

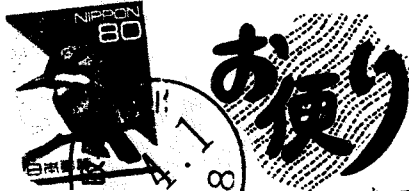
よい教材となる東白川村に

東濃教育事務所学校職員課長 熊崎満夫

野山の木々の芽吹きが一層美しい季節となりました。豊かな自然、人情味あふれる東白川村で、三年間勤めさせていただき、皆様方には公私ともに大変お世話になりました。

涼朴で心やさしい生徒達との生活は、毎日がとても新鮮であり、教師であることの幸せを改めて強く感じました。

また、地域の皆様の姿から、お一人お一人が心から東白川村を愛し、村の将来について真剣に考えておられることを知り、改めて東白川村のすばらしさを学びました。互いに、それぞれの立場で知恵を出し合い、互いに助け合って前進していく迫力が伝わってきました。中学生にもすっかり伝わってきています。さらに生徒達にとって、よき教材となられますようにお願いするとともに、東白川村の御発展を心よりお祈り致します。
ありがとうございます。



お便り



職場から

東白川分遣所

中学校体育館上手の道路沿いにある東消防署東白川分遣所は、交替で常時三人の消防士が詰めています。もちろん二十四時間体制。夜十時以降は、三人が三時間交替で寝ずの番です。夜間の電話の音はやけに大きく感じるものです。受話器を取ると「急病人を運んで欲しい」との電話。分遣所で最も出動が多いのは、こうした急病患者の移送です。さっそく、仮眠中の職員二人を起し、一人を連絡係として待機させ救急車で出動。夜間走る道は、昼間と違い見通しが悪く困りますが、この日は、家の方が懐中電燈で示して下さったのですね。目的地がわかり大助かりでした。私たちの暮らしを守るため、消防士さんは日夜大活躍です。



小池宏昌くん
(謙多郎さん・康子さん
長男・平)



田口絵梨ちゃん
(安範さん・千穂美さん
長女・平)

2 ツーショット 新婚さん



▲田口健二さん・佳澄さん（西洞）

「奥さんの誕生日に結婚式！」。

今月ご紹介するカップルは、三月二十七日に結婚式を挙げられたばかりという西洞の田口健二さん、佳澄さんご夫妻です。

「こんな山奥にまだ家があるのかなあー」これが初めて東白川村を訪れた時のご主人の率直な感想です。

関市ご出身のご主人と奥さんの出会いは、お二人が同じガソリンスタンドを利用していたからだとか。「何でも話すことができ

る友達どうしみたいな関係ですよ」とは奥さん佳澄さん。付き合いが始まって半年後にはお互い結婚を意識していたとのこと。

現在ご主人は、奥さんの家の家業の見習い中。「こちらには知り合いがないので地域の行事などにも参加していきたい」と頼もしい話もしてくれました。

また、お二人とも子どもが大好きだとか。「賑やかで明るい家庭を作りたい」と話してくれた明るいご夫婦です。

今月のことば

廃業したお相撲さんを「あいつは強くなれないからやめたんだ」なんて言う人がいます。けれど一生懸命やった人はみんな人間として横綱です。第28代木村庄之助・横綱を語る（サライより）

集落めぐり 大明神

村内には二十の集落があります。このコーナーは各地区の地名の由来や自慢などを紹介していきますというものです。

第一回目は、大明神です。

恵那郡付知町、福岡町と加茂郡白川町に接する大明神は、海拔五五四から六七四の範囲に七十五の世帯があります。

新編東白川村誌によれば、地名の起りは、この地に祀られている子安大明神（現子護神社）の神号にちなんだものとか。幕末のころに、神号を侵すことは恐れ多いとして一時「新果の里」という意味から「巢室」と改称したようですが、明治維新の際再び大明神に戻したとのこと。

村の天然記念物「弁天桜」は大明神の玄関口にどっしりと腰を据えています。四月二十日ころが満開期となり、七分咲きのころを見計らって弁天さまのお祭りが行われています。

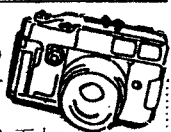
図書室発・あなたへ

これは、男女四人のささやかな夢と理想が「現代的な怪物」を生み出してしまおう物語です。「創られた天才」が、突如、自己を主張し反逆をはじめた。若者のカルト的人気を得る深夜放送のヒーローは毒舌で大衆を扇動しつつ、攻撃の矛先を意外な方向に向けた。メデイア社会の恐ろしさを描いた最高傑作。

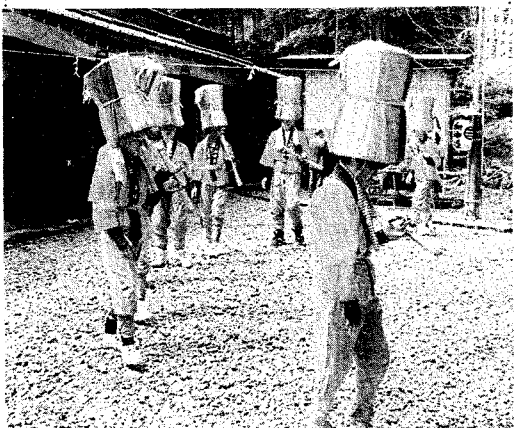


「怪物がめざめる夜」小林 信彦著

ホットカマゲル



五加地区に「春、を告げる五加神社例祭。五加神社の春祭りといえは呼び物となっているのが「杵振り踊り」です。昭和35年五加区内の神社合併を機に始まったこの踊りは、五穀豊穡を祈って行われるものです。



わが家のスター

▶安江由奈ちゃん
(道雄さん・千佳子さん
長女10代)



発表かたしの作品



◀壁画 越原保育園卒園記念作品
卒園児 23名



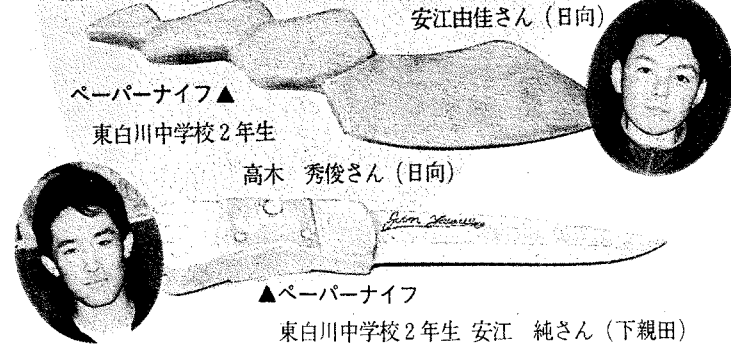
版画「5年生の思い出」
東白川小学校6年生
安江章徳さん(大明神)



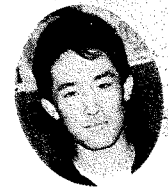
▲「牛」
東白川小学校2年生
粥川真緒さん(陰地)



▲紙版画「二人でしたこと」東白川小学校4年生
安江由佳さん(日向)



ペーパーナイフ▲
東白川中学校2年生
高木秀俊さん(日向)



▲ペーパーナイフ
東白川中学校2年生 安江純さん(下親田)

▼道路と川に狭まれたわずかな崖地は、今や貴重な植物の豊庫で、昔はどこでも見られた灌木類も今はもうここで見ればなかなかお目にかかれぬ。▼ネコヤナギの銀毛、一寸下り、岩陰には田打ち花(シヨウジョウバカマ)など、松の植林地には無い安らぎの空間がそこにある。▼考えて見れば、道路沿いでありながらこれほど人の手が入らない所も珍しいのでは……。人の手が入らなくて冬などは路面が凍って困ることもあるが、▼それにしてもこの貴重な植生空間を活かすことを考えてみよう。それが自然との共生というものかも知れない。(S)

広報文芸

俳句 狂俳

天辺に雪置きしまま山笑ふ
石段をのぼれば社前春の風
雪掻きて山の遭難悼みけり
寒梅の香る駅にて孫を待つ
豊凶を天に任せて種子まきす
まきを割る音大寒と響きけり
またくると孫が手を振る梅の道
長旅の別れ惜しむや春時雨
乾し板を倒して過ぎぬ春疾風
若めくや道後の湯けむり春の夢
壁蝨の過ぎしに未だ起き出でず
大ねずみ捕へし檻を雪におく

日向 安江一滴子
平 安江 武子
平 今井 統子
曲坂 莉田 清美
加舎尾 新田 義男
枳山 安江 市助
日向 田口 秋映
宮代 安江 奎一
平 安江すみよ
西洞 河田あや子
中谷 田口 耕作
西洞 河田重喜

狂俳

新春 戊年の景気期待する 日向 田口 秋映
早春 うぐいす下手なのどならず加舎尾 薫
ちよつと一服 峠の茶屋すいている 日向 田口 秋映
〃 〃 機械もたまにや休みみたい 加舎尾 薫
〃 〃 犬もオヤツの仲間なり 宮代 安江 奎一
早春 せせらぎ映す陽が笑う 西洞 河田 無声
新春 お年玉やる孫ふえる 日向 田口 秋映
寝たり起きたり 万年床へ子が見舞う 加舎尾 薫
寝たり起きたり 九十となれば無理もない 西洞 河田 無声
〃 〃 難産のあと大事とる 日向 田口 秋映
〃 〃 入院生活日が長い 宮代 安江 奎一
寝たり起きたり まだ失恋の疵いえぬ 清流軒久永

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ちしています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西洞河田重喜宛・狂俳は陰地安江永吉宛までお寄せ下さい。なお、次回狂俳の題は「のびのび」「うきうき」「春の月」振り返りです。



花、まんさく、クロッカスなども白花より黄花のほうが早咲きで、ひとつひとつは控え目だが、心を明るくしてくれる。▼霧を囲気を持っている。▼北橋の袂にワゴン車が一台。降り立った三、四人の男女が黄色い木の花を見上げていた。